

**名前** \_\_\_\_\_

**基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。**

	チェック
① 次回コアプラス週テストへ向けての勉強 1~53 熱・気体	
② 週テストの復習用を解く	
③ 宿題用テキストの授業演習問題復習用のうち、授業で扱った問題を解き直す	
④ 宿題用テキストの演習問題の基本編を解く	

**応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。**

	チェック
① 授業用テキストの授業で扱っていない問題を解く	

**発展メニュー (☆) …他教科の宿題が出来て、まだ余裕があるときにやりましょう。**

	チェック
① 宿題用テキストの演習問題の応用編を解く	

担当より一言

今回は、気体の性質・気体の発生・中和の問題演習を行いました。

水溶液の分類の問題は、表を書いて整理する、中和や金属と水溶液の反応などの計算問題は、過不足なく反応するときの数字をまず書くなど、解くときの作業が確実にできているかを確認しましょう。

宿題に関しては、授業で扱った問題と、先生からここをやっておこうと言われた演習問題は取り組むようにしましょう。

第12回の問題演習でつまづく問題が多い場合には、もう一度第11回の授業用のテキストを見直し、知識や計算方法の抜けが無いか確かめてみましょう。先週の内容に戻って復習するのも非常に有効です。

どの部分を覚えていればどの問題を解くことが出来たのか、などの視点で復習してみるのもよいでしょう。

G模試に向けた勉強は、範囲が広いですが、まず週テストは必ず復習しておきましょう。その他に勉強するのであれば、

- ・週テスト範囲の総復習
- ・基本問題A・Bを解き直し、各単元の語句が覚えられているか確認する。
- ・各回の宿題の演習問題基本編を解き直す。

など、各自で優先順位をつけて、取り組める範囲で復習をしましょう。

※G模試範囲は、第6回～第13回内容です。